

議会だより

そでがうら

市議会



ガウラ

袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

No.169

平成29年2月1日
発行:千葉県袖ヶ浦市議会



今年の粥占の結果

大豆	粟	稗	晚稻	中稻	早稻	麻衣	小麦	大麦	飽富神社御筒粥之記
合計	六	六	七	八	八	九	七	九	六
平	六	六	七	八	八	九	七	九	六
成	六	六	七	八	八	九	七	九	六
二	六	六	七	八	八	九	七	九	六
十	六	六	七	八	八	九	七	九	六
五	六	六	七	八	八	九	七	九	六
日	六	六	七	八	八	九	七	九	六
社	六	六	七	八	八	九	七	九	六
務	六	六	七	八	八	九	七	九	六
所	六	六	七	八	八	九	七	九	六

受け継がれる
伝統行事

あきとみ つつがゆ
飽富神社 筒粥

12月定例会

市税条例等改正 医療費控除の特例	ほか	2~3	10人が市政を問う 一般質問	10~15
陳情 (受動喫煙防止、内房線の安全)		4~5	新広報委員紹介	15
委員会レポート		6~7	トピックス (本会議傍聴、庁舎整備視察)	
地域活性化推進特別委員会を設置	ほか	8	3月定例会の予定	16
議決結果		9		

12月定例会

会期 11月29日(火) ～ 12月19日(月)

21日間

条例改正	8件
指定管理者の指定 (ゆりの里)	1件
補正予算	6件
人事案件 (教育委員会委員)	1件
陳情	2件
発議案	2件
合計	20件

特別職及び議員の 期末手当引上げ

可決

人事院及び千葉県人事委員会の給与改定勧告を受け、一般職職員 of 期末手当の支給割合を引上げる条例改正が上程され、それに伴い、常勤特別職等の

委員会での主な質疑

- Q** 特別職報酬等審議会で期末手当を審議しない根拠について。
A 条例では、期末手当を審議対象にしていません。今回の改正は、特別職についても一般職に準じて、人事院勧告等により示された民間との格差を是正するために行うものです。
- Q** 期末手当についても報酬等審議会で諮るべきではないか。
A 他市において事例があることは承知しています。今後、近隣市等状況の変化があれば必要に応じ検討していきます。

Q 市民に負担を求めているが、増額の改正を行うことについて。
A 過去には期間限定で自ら削減を行いました。期末手当は、官民格差の是正として行っているものであり別に考えています。

期末手当の支給割合を0・1ヶ月分引上げる改正をします。
討論の後、賛成多数で可決しました。

賛成論



◆ 近隣市においても同様に一般職の改正に伴った改正を行っており、期末手当の支給割合を特別職報酬等審議会の対象としていないのも同様のため、適正と考え賛成する。

◆ 近隣市の動向も見ながら報酬等審議会の検討も行うとの見解もあるため、妥当であると判断し賛成する。

反対論



◆ 市は58億円の財源不足として、持続可能な財政構造確立のための集中的取組みを実施し市民に負担を求めている中で、市民に理解してもらうには慎重な審議が必要だと判断するので反対する。

◆ 第三者の審査を経ることなく無条件に実施することは問題があり、期末手当も報酬等審議会の審議対象に加えるよう条例の改正を求めて反対とする。

奨学資金の貸付要件緩和 類似の奨学資金と併用可能に

奨学資金貸付条例の一部を改正するもので、全員賛成で可決しました。

…主な改正内容…

◆日本学生支援機構奨学金など、類似の奨学資金と併せて借りられるようになります。
なお、国が平成30年度から学校推薦により約2万人を対象に返還不要の給付型奨学金制度を導入すると発表しましたが、こちらとの併用も可能です。

◆借受人が死亡もしくは災害病気その他やむを得ない事由があるときに、借受人本人からだけでなく、相続人又は連帯保証人からも免除の申請ができるようになります。

■文教福祉常任委員会での質疑は7ページに掲載しています。併せてご覧ください。

区分	国公立（貸付金額）	私立（貸付金額）
高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校または専修学校の高等課程に在学する者	月額 10,000円 以内	月額 20,000円 以内
大学、短期大学、または専修学校専門課程に在学する者	月額 22,000円 以内	月額 43,000円 以内

※貸付要件などの詳細は教育総務課（62-3691）へお問い合わせください。



市税条例等一部改正

地方税法等が改正されたことに伴い、市税条例等の一部を改正するもので、全員賛成で可決しました。

軽自グリーン化特例 1年延長

軽自動車税のグリーン化特例を1年延長。平成29年度課税分も軽減措置が行われます。

グリーン化特例の軽自動車税軽減率

対象・要件等（3輪以上の軽自動車）		軽減率
電気自動車 燃料電池自動車 天然ガス自動車		75%
ハイブリッド車 ガソリン車	H 17年 排ガス規制 75%低減	H 32年度燃費基準 + 20%達成（乗用車）、H 27年度燃費基準 + 35%達成（軽貨物） 50%
		H 32年度燃費基準達成（乗用車）、H 27年度燃費基準 + 15%達成（軽貨物） 25%

5年間
期間限定

医療費控除の特例

一部の一般医薬品の購入が控除の対象に



注意

従来の医療費控除と、この特例は併用できません。どちらか一方となります。

検診や予防接種を受けている個人を対象に、平成29年から平成33年の所得の申告において、一部の一般用医薬品（※スイッチOTC医薬品）の年間購入額1万2千円を超えた分が、それぞれの年の申告において医療費控除の特例として控除対象になります。（セルフメディケーション税制・上限金額8万8千円）

スイッチOTC医薬品とは

医師によって処方される医療用医薬品から、ドラッグストアで購入できる一般用医薬品に転用された医薬品です。

類似の医療用医薬品が保険給付対象外の物は除きます。

■厚生労働省のホームページに対象品目一覧があります。内容は定期的に更新されるそうです。



陳情

陳情とは、市議会に対し、直接市政について要望ができる制度で、「請願」は紹介議員が必要ですが、「陳情」は紹介議員がいなくても提出できます。

袖ヶ浦市では、本会議前の議会運営委員会で、陳情を審議するかどうかを決定します。また、審議のために所管の常任委員会で陳情人による願意の説明が必要です。

受動喫煙防止

趣旨採択



子どもと妊婦の受動喫煙を防止する取り組みを求める

陳情

……主な内容……

特に子どもと妊婦の受動喫煙を防止するため、以下について啓発や条例制定を行うよう求める。

- ◆通学路、公園、駅周辺道路等の受動喫煙を無くす。
- ◆自動車内の受動喫煙を無くす。

主な委員会質疑

Q 賛同団体のスモークフリーキッズとはどういう団体か。

A 君津市の歯科医が中心となり、平成21年から子どもと妊婦の受動喫煙防止の活動を行っている団体です。

◆飲食店だけでなく来店者の協力も得られるよう取り組む。

文教福祉常任委員会では、質疑のうち、委員から、「タバコは喫煙者のもとより、周囲の人の健康にも悪影響を与えることから、否定する理由はないが、条例制定しても実効性のある条例とはならない。陳情人が求める条例制定には疑義が生じるため、受動喫煙防止という本陳情の趣旨については賛成したい。」という趣旨採択の動議が出され、本会議においても趣旨採択に対し全員賛成となりました。

Q 条例制定を求めているが、他市で条例化されている自治体はあるのか。

A 神奈川県、兵庫県、北海道美唄市において、公共施設に加え飲食店を含めた施設を対象にした受動喫煙防止に関する条例を制定しています。

議会用語

趣旨採択 (しゅしさいたく)

請願や陳情に対する議会の意思決定は、通常「採択」か「不採択」しかありませんが、内容(願意)は十分に理解できるが、実現性の面で確信が持てないと予想される場合などに採られる決定方法です。



内房線の踏切対策 安全と利便性の確保

不採択

…… 主な内容 ……

以下について、ＪＲ千葉支社へ決議に基づく要請を求める。

◆警報機、遮断機が無い踏切への早急な設置。

◆みどりの窓口廃止、直営から委託業務への格下げ、主に早朝の出改札の駅社員無配置など合理化による状況の悪化をさせない、など。

主な委員会質疑

Ｑ市の説明において「更なる利便性の向上」としているが、みどりの窓口の廃止など「後退させられた」とすべきでは。

Ａ多機能券売機で利便性が向上した面もあります。ホームへのエスカレーターやみどりの窓口の設置は、ＪＲ千葉支社側では利用者の増を必要としており、袖ヶ浦駅海側や椎の森工業団地といった街づくりを進めながら利用者の増を図り、粘り強く対応していきます。

Ｑ柳町踏切について、改正踏切道改良促進法に基づいた指定はされていないのか。また今後の対策は。

Ａ指定はされていませんが、国土交通省が公表した、緊急に対策の検討が必要な踏切として、踏切安全通行カルテには載っているの、今後もＪＲ千葉支社と協議して安全対策を進めていきたいと考えています。

内房線踏切対策 陳情 討論

賛成討論



委員会の審議を通して、市内の内房線沿線には警報機、遮断機が無い踏切は無く、またＪＲ千葉支社に対して、市が様々に交渉しているので必要が無いとの意見があったが、ＪＲ千葉支社は極めて公共性が高く、営利を優先し安全性がないがしろにされるようなことはあってはならない。

市が交渉しているが、ＪＲ千葉支社の姿勢は極めて不誠実であり、このような陳情を採択していくことには大きな意義があると考え賛成する。

反対討論



危険な踏切は、国土交通大臣が指定を行い、道路管理者、鉄道管理者等が連携して具体的な対策を検討する仕組みができた。安全装置への対策についても市内内房線の13箇所すべて整備済み。防風柵の設置についても市内において防風対策の必要な場所は無いとの市の回答であり、本市に該当しない内容が多い。市は今後についてもＪＲ千葉支社に対し、利便性向上に向けた働きかけを行っていくとのことなので、反対する。

※東日本旅客鉄道(株)千葉支社を「ＪＲ千葉支社」と表記させていただきます。

委員会レポート

議会では、より詳しい審議をするために、3つの常任委員会に議案を付託し審査しています。

12月定例会では、議案14件と陳情2件が各常任委員会にて審査されました。以下は、議案審査内容の抜粋です。会議録は、ホームページで3月頃に掲載する予定です。

総務企画常任委員会

12月13日開催

議案4件
陳情1件

各種改修など一般会計の補正予算を審議

国が行う経済対策臨時福祉給付金への対応や、小規模保育事業負担金、私立幼稚園就園奨励費補助金等の増額補正、河川護岸改修や博物館等一部設備補修

などを含む一般会計の補正予算（歳入歳出それぞれ2億2211万9千円の増額）について審査しました。

主な質疑は次のとおりです。

Q 人件費の補正については、特別職・議員の期末手当増を含むのか。

A 含まれます。（人事院勧告による民間給与との差額調整によるもの）

Q 台風等の被害を受けた河川は、現在まだ危険性が排除されていない状態か。

A 松川について大型土のうで処置して被害が出ないようにしています。補正予算で根本的な改修を行うものです。

Q 椎の森工業団地の雨水管整備における増額の理由は、

A 当初は、工事で発生した土を利用して、管の周りを埋め戻す予定でしたが、締め固められない性質の土だったため購入土へ変更しました。

Q 私立幼稚園就園奨励費補助金増額の内容は、

A 多子世帯やひとり親世帯への補助制度拡充によるものです。

Q 博物館の補修内容は、

A 浄化槽、エレベーター部品、空調の補修です。

文教福祉常任委員会

12月14日開催

議案4件
陳情1件

奨学資金貸付条例を改正

経済的に修学困難な家庭の負担を軽減

経済的な理由により修学が困難な者に対する支援の充実を図るため、奨学資金の貸付けを受けることができる者の資格要件を緩和するとともに、延滞利率

の引下げなどを行うための条例の一部改正について審査しました。

主な質疑は次のとおりです。

Q 改正にあたってどの様な問題があり、その解決策は。

A 子どもの相対的貧困率が年々上昇しており、生活保護世帯の子どもの高等学校等への進学率が落ちている状況です。また、大学等の授業料が高騰しており、現在の貸付金額では十分とはいえない状況から、他の奨学金制度の併用を可能としました。

Q 貸付金額の増額や給付型制度導入の考えはないか。

A 貸付金額を増額するよりも、他制度との併用を可能にすることにより多様な選択が

できる方が効果的だと考えています。また給付型については、原資が税金であり、一自治体では効果と成果を図ることが難しいため、国または県に委ねたいと考えます。

Q 入学準備金の支援はできないか。

A 本市の奨学金は修学資金としての位置付けで、併用が可能になるため他制度で検討願いたいと思います。今回の改正では修学のすべてを支援することは難しいですが、広い選択肢の中で検討できるのではないかと考えています。

建設経済常任委員会

12月15日開催

議案6件

ゆりの里 JAきみつが指定管理を継続

農畜産物直売所「ゆりの里」は、地域で生産される新鮮で安全な農畜産物を提供し「地産地消」を促すとともに、農家経営の安定的発展と地域農業の振興

を図ることを目的とした施設です。この施設の指定管理者の指定について審査しました。

主な質疑は次のとおりです。

Q 業務内容の仕様書等が変更になったが、どのように評価へ反映されたのか。

A 提出された事業計画等が市の示した募集要項、仕様書と合致しているか、将来的に実現可能なかを審査します。過去の評価を引き継ぐことはありませんが、実績として加味されています。

15名が市内の方です。

Q 年度毎に純利益の35%に相当する額を市に納入するが、これまでの推移は。

A 平成24年度は0円、平成25年度は173万円、平成26年度は84万円、平成27年度は222万円です。

Q 出荷者の市内、市外の割合は。

A 平成27年度末の出荷者435人のうち291人66・9%が市内、144人33・1%が市外です。

Q 物品の調達等における地元企業との契約状況及び地元雇用は。

A 市内の業者でまかなえるものは市内業者にお願いしています。臨時職員19名のうち

地域活性化推進特別委員会を新設

環境・災害対策特別委員会も継続して設置

地域活性化推進特別委員会

地域の特性を活かした
魅力ある袖ヶ浦へ

人口減少が予測される中、地域社会を活性化するため、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを推進していきます。各分野にまたがる地域活性化施策の調査研究を行うため、特別委員会を設置しました。

委員長
副委員長
委員

粕谷 智浩
山口 進
在原 直樹
小国 勇
緒方 妙子
篠原 幸一
励波 久子
笹生 猛
阿津 文男
塚本 幸子

環境・災害対策特別委員会

コンビナートの環境・災害や
自然災害に対応

工業地帯の環境・災害に対応するため、また、近年頻発している地震や大雨などの自然災害への対策強化について調査研究を行うため、特別委員会を設置しました。

委員長
副委員長
委員

笹生 典之
山下 信司
根本 駿輔
鈴木 憲雄
佐久間 清
前田美智江
長谷川重義
佐藤 麗子
篠崎 典之
渡辺 盛

人事案件



人権擁護委員に ふか い あきら 深井明氏

前任の伊藤鉄夫氏の任期満了に伴い、9月定例会において新たに深井明氏が人権擁護委員に推薦され、全員賛成で同意されました。任期は平成29年1月1日から3年です。



教育委員会委員に ふくしまとこ 福島友子氏が再任

平成28年12月20日をもって任期満了となる教育委員会委員の福島友子氏の再任が、12月定例会において全員賛成で同意されました。任期は平成28年12月21日から4年です。

お詫びと訂正

平成28年11月1日発行第168号に誤りがありました。11ページに掲載したカフェドぎかいの視察に来市いただいた市は、石川県美濃市ではなく、正しくは「石川県能美市」です。訂正しお詫びいたします。

平成28年12月定例会の議決結果

12月定例会では、議案16件、陳情2件、発議案2件について議決し、すべての議案について原案のとおり可決されました。そのうち賛否が分かれた案件は4件でした。

◆賛否が分かれた案件◆

議案等	議決結果	付託委員会	根本駿輔	山口進	山下信司	粕谷智浩	在原直樹	小国勇	笹生典之	緒方妙子	篠原幸一	鈴木憲雄	佐久間清	前田美智江	長谷川重義	励波久子	佐藤麗子	笹生猛	榎本雅司	阿津文男	塚本幸子	福原孝彦(議長)	篠崎典之	渡辺盛	
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	総務	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	-	●	○	
平成28年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	文教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●	○
内房線沿線住民の安全と利便性確保を求め沿線自治体の連携強化による要請活動を求める陳情	不採択	総務	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-	○	●

- ◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。
- ◆議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示してあります。
- ◆受動喫煙の陳情は、委員会の審査結果である趣旨採択に対して賛否を採決しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対

◆全会一致で原案可決・同意・趣旨採択された主な議案◆

- 税条例等の一部を改正する条例の制定
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- 自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定
- 農畜産物直売所の指定管理者の指定
- 平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)
- 教育委員会委員の任命(福島友子氏(再任))
- 子どもと妊婦の受動喫煙を防止する取り組みを求める陳情書(趣旨採択)
- 地域活性化推進特別委員会の設置
- 環境・災害対策特別委員会の設置



詳細については袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.lg.jp> 議会事務局 ☎(62)3450

▲議決結果はこちらから

10人が市政を問う 一般質問

一般質問とは、市政のあらゆる疑問について、本会議の場で、市に対し議員が質問や提案を行うものです。議員本人がQ & Aを要約し、作成した原稿を、登壇順に掲載しています。未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は3月頃掲載予定です。



各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録はホームページのほか、市役所2階の市政情報室や中央図書館、おかのうえ図書館でも閲覧できます。

会議録はこちらから



袖ヶ浦市議会 検索

教育行政について

Q 校務支援システムを使う教職員の立場からは十分に活用できるシステムの導入が大切な点があるが、具体的にどのような効果が期待できるのか、また、どのような点に配慮した導入を考えているのか伺う。

A 校務支援システムは、各機能の連携により、出席簿を手書きしていたり、成績処理や保健管理などの各業務ごとで個別に名簿を作成していたものが、全て電子上で一元管理することにより、正確かつスムーズに実施できることが効果です。

配慮すべきことは、既に導入している先進市や、導入を予定している近隣市の状況、活用実績などを注視しながら、システムの効率性や操作性、セキュリティ

佐久間 清 議員 (開政クラブ)



- ・教育行政について
- ・主要道路等の整備状況について

ティーの強化などについて配慮が必要であると考えています。

主要道路等の整備状況について

Q 市道三箇横田線の整備状況と今後の予定について伺う。

A 本年度においては、国庫補助金の交付額が減額されたことにより計画を変更し、現在、地盤の改良工事と道路舗装工事を施工しています。

用地の取得については、関係地権者と引き続き交渉を行っていきます。今後の予定は、H31年度までの1期1工区の完成を目標とし、補助金が確実に交付されるよう国や県に要望していきます。



粕谷 智浩 議員 (新風会)



・高齢者などへの交通施策について

高齢者などへの交通施策について

Q 高齢者の事故の状況は。

A H23年から27年における本市の交通事故死者数は17名で、内5名が高齢者です。割合は約29%となります。

Q 高齢者の事故を防止するための施策は。

A 高齢者対象の交通安全教室で道路横断時、自転車乗車時の注意点などについて周知を図る「交通事故に遭わない」取組みと、体験型講習会を開催し、運動能力、適応判断能力などが加齢とともに低下しているなど自らの身体的な機能の変化を自覚してもらい、その結果に基づいた指導、助言を行うなど「交通事故を起こさせない」という「二つの視点の取組み」を推進

しています。

Q 免許返納制度にどのようなように

Q 取り組んでいくのか。

A 返納後にこれまでと同じような生活を送ることができなくなるのではという不安を抱くとは思いますが、「二つの視点の取組み」から、自主返納制度の周知を図り、高齢者が当事者となる交通事故の抑止に努める必要があると考えています。

Q 超高齢社会を迎える上で新たな交通施策を実行していかないか。

A 地域特性に応じた多様な生活交通の確保、持続可能な仕組みづくりを構築していくことが必要です。地域公共交通活性化協議会での意見を踏まえながら、今後の取組み方策を検討していきます。



前田 美智江 議員 (公明党)



・子育て支援について
・少子高齢化社会の諸問題への取組みについて

切れ目のない子育て世代への支援を！

Q 子育てサービスが円滑に利用できるための「子育て世

Q 「産前産後ヘルパー派遣事業」について伺う。

A H29年度に妊娠、子育てに関する総合相談窓口を開設します。ここに、保健師や社会福祉士等の専門職員を配置し、相談室を設けて母子の健康や子育てに関する不安感の解消に努めます。

Q 「産前産後ヘルパー派遣事業」の内容と今後のスケジュールについて伺う。

A 家族等から十分な家事・育児などの援助が受けられない母親等に対して、訪問介護事業者からヘルパーを有償で派遣することにより、安心して子育てができる環境の向上を図ります。今年度中に受託意向のある

事業者を登録するとともに研修を実施し、H29年4月の事業開始を目指します。

Q 「産前産後ヘルパー派遣事業」は有償サービスだが、利用者負担の考え方について伺う。

A 他市の事例を参考に、適切な負担額となるよう検討しています。

生活困窮問題と地域互助について

Q 高齢化が進む中、経済的困窮だけでなく、人や地域との関係が途切れてしまう人も多くなっているが、その対策を伺う。

A 市民と行政の協働のまちづくりを進め、地域住民のお互いさまの関係を築くため、地域団体の活動や自治会、シニアクラブ等への加入促進などを進めていきます。



緒方 妙子 議員 (公明党)



・環境整備への取組みについて
・子育て支援について



環境整備への取組みについて

Q 空き家バンク制度の設置目的は。

A 空き家の有効活用、空き家状態の解消と適正管理を促すためです。

Q 空き家バンク促進策への取組みについて。

A 周知に取り組み、必要に応じて運用状況により補助制度等も検討します。

Q 空き家等対策推進のため、自治体にさまざまな措置や権限が加えられた。本市の対応は。

A 対策計画で不適切な空き家の基準や改善措置の手続きを定めます。

Q 空き地や道路脇の雑草への対応について。

A 所有者へは通知と指導を、市道の除草は年1回行っていきます。交差点付近は適宜対応します。

Q 危険な外来生物・有害鳥獣対策について。

A 危険な外来生物は周知、早期駆除に努め、有害鳥獣対策では、対策実施隊の設置、わな猟免許取得補助を行い、対策講習会も検討しています。

Q 長浦駅で被害を及ぼすハトへの対応は。

A 現地調査を行い、対応していきます。

Q 伐採した枝木は以前と同様の回収方法か。他の方法を検討しないか。

A 指定袋に入らない物は粗大ごみとして今後も有料収集で行います。

B型肝炎ワクチン定期予防接種について

Q 対象は1歳未満3回接種だが、短期間に接種する乳児への対応は。

A 保護者への通知、ポスター、医療機関で周知徹底を図っています。

鈴木 憲雄 議員 (市民クラブ)



・大規模開発の現況とその税收効果について
・防犯対策の充実について



大規模開発の現況と税收効果について

Q 椎の森工業団地整備事業の現況と税收について伺う。

A 1期地区は整備が完了し、12社が操業中です。2期地区はH29年度分譲開始に向け整備を進めています。税收は推計値で、両地区合計、年間約5億1千700万円を見込んでいます。

Q 袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業区域内の、固定資産税等税收に関わる現状について伺う。

A 第1工区の税收は、H27年度約4千600万円、対前年度約4千400万円増加しました。第2工区土地分のH29年度試算税收は約4千500万円です。また、計画人口が全て居住した場合、個人市民税が1億円を超える見込みです。

防犯対策の充実について

Q 本市の犯罪の発生状況を伺う。

A H14年の1千758件から昨年は544件に減少し、全体の約4分の3が窃盗犯です。

Q 防犯対策の現況と今後の取組みを伺う。

A 自主防犯組織等市民による活動の支援、拡大を図り、防犯カメラの設置など防犯体制の充実に取り組んでいきます。

Q 防犯ボックス事業について伺う。

A 県が全国初の試みとして、H25年からコンビニ敷地内に設置、警察官OB3名を配置し、侵入盗の減少などに効果がありました。市では他市の状況を踏まえて総合的に設置を検討します。

励波 久子 議員 (日本共産党浦市議員)



・保育・幼児教育のあり方について
・通学路の安全対策について



今井・中川幼稚園
保育料値上げしないで！

Q 市立幼稚園の保育料を今年度中に見直すとしているが、国の保育、幼児教育の段階的無償化の方向性がある中で、値上げすべきでない。どのように検討しているのか。

A 近隣市の状況や国が進めている幼児教育無償化の取組みなどを踏まえ、総合的に検討しています。

Q 幼稚園でも、仕事をしている保護者がいる。保育料が上がるなら選択肢は幼稚園でなく保育所になり逆に待機児童を増やすことになる。保育料の見直しは問題。また定員割れをしているから施設を無くすのではなく、浦安市のように市立幼稚園で余裕教室を利用して一時預かり事業をするなど活用すべき。

今井幼稚園は廃止せず別の場所に建て替え存続させないか。

A 施策の第一目標の子育て環境をいかにするか総合的に見直しをしていきます。幼稚園統合により教育の質やサービスが低下しないよう1園体制で運営していきたいと考えています。

信号機設置を働きかけ
安全に渡れる横断歩道に

Q いちよう通りと市道神納橋線の交差点で信号機のない横断歩道があるが、見通しが悪く、交通量も多く危険。市長が先頭に立って県警と交渉し、働きかけないか。

A 適切な安全対策について警察と協議をしています。協議の結果を促進できるようにしっかりと努力していきたいと思えます。

笹生 猛 議員 (創袖クラブ)



・気志團万博を活用し「袖ヶ浦市を元気にする」取組みへ向けて



気志團万博を検証し新たな
活性化の取組みへ

Q H28年の万博は、有志による袖ヶ浦駅への顔出しパネルの設置、市として来場者への聞き取り等、新たな取組みを行ったが、その成果をどう認識しているか。

A 会場内出店は10店舗、2日間約950万円の売り上げ、市内宿泊は調査9箇所で満室、駅周辺のコンビニ4店はかなりの利用者があり、本市の知名度向上や経済的效果に寄与することができました。

Q 既存の効果は認めるが、来場者数を考えると不十分だと思う。「袖ヶ浦駅の南側に人が行かない」市はここに目を向けるべき。実施アンケートから何が見えるか。

A 内容は、居住地や本市の知名度等5項目。回答は284名からいただき、見えた課題は飲食店の割引等のサービス、飲食店や観光マップの配布を希望するものでした。

Q 宿泊場所の問題が一番のネック。宿泊に関してのデータは。

A H25年の調査では、開催2日間269名が宿泊しています。

「あるモノ活用」で最大の効果を

Q 既存の事の組み替えで最大限の効果を出す提案をしている。プロモーター等も情報交換を行い、万博を市の活性化方策に繋げることが必要だがどう考えるか。

A 主催者側と情報交換を行いながら、万博を活用した活性化への取組みを進めていきたいと考えています。

根本 駿輔 議員 (新風会)



- ・空き家バンクの運営方針について
- ・幼児保育のニーズ予測に対する確保方針について



既存不動産市場がある中で空き家バンクの意義は

Q 空き家バンクについて、ただ「他の自治体がやっているから始める」ということではなく、存在意義と方向性を明確にする必要があると考えるが、既存不動産市場からどう差別化するのか。

A 市が介入することで安心して使っていただけることや、建物状態や立地条件から市場に評価されない物件の受け皿になると考えます。

Q 契約を行うのは仲介業者で、市が責任を持つわけではない。安心していただくというのは無理があるのでは。主なターゲットは市場価値が無い物件ということか。

A 利活用が可能な空き家全てがターゲットです。

Q 利活用が十分に可能な物件は既存の市場でカバーでき

るのでは。成果を求めず低コスト運用するのか、あくまでも成果を求めめるのか、どちらも考え方として有り得ると思うが、方針は。

A 事業として行う以上、成果を出せるようにしたいと考えています。

長浦地区の保育施設確保計画の状況は

Q 実質的な待機児童と言え入所待ち児童の市全体の直近の数は。

A 12月1日現在、市全体で138人です。

Q 子育て応援プランにおけるH30年度長浦地区の保育定員150人確保の見通しは。

A 現在、新たな認可保育園の設置申し出をいただいております。具体的に検討を進めていきます。

篠崎 典之 議員 (日本共産党旭ヶ浦市議員団)



- ・公共交通網の整備拡充について
- ・火葬場の共同建設について
- ・オスプレイの木更津整備拠点化への対応について



市として乗り合いタクシー実施の検討を

Q 高齢者増の中、交通弱者のためにデマンドタクシーなど、公共交通網の整備拡充を真剣に検討、実施すべき。現状をどう考えるか。

A 特に平岡、中川・富岡地区の高齢化は、全国平均を上回り、高齢ドライバーも増える見込みです。過去には、デマンド型乗り合いタクシーの実証運行や改善のためのアンケート調査を行いました。現在、地域公共交通活性化協議会で持続可能な交通ネットワーク形成に向けたさまざまな調査研究中です。

Q 玄関先から送迎するデマンド型乗り合いタクシーを自治体として実施しないか。

A 平川地区でデマンドタクシー実証運行の結果、利用

が伸びず、収支率も非常に低いため、持続不可能と判断し終了したことから、現在は考えていません。

平川地域以外は実証運行もしていない

Q 平川のデマンドタクシー実証運行と同時期に運行を開始した君津市では、約3千万円かけ、きめ細かい運行努力をしている。本市のNPO運行デマンドへの補助は、約150万円。平川地域以外の実証運行もしていない。実証運行廃止時に他市と比較検討をしたのか。

A 比較検討はしていませんが、既に路線バスの維持に4千万円支出しており、タクシーへの影響なども含め総合的に考えました。終了を即決したわけはありません。

山口 進 議員 (創袖クラブ)



・農業振興UJUN
・市道いちよう通りの騒音、振動対策
について



農業振興で市の活性化と発展を

Q 担い手対策について伺う。

A 農業経営体育成セミナーや農業大学の受講生に対する補助金の交付、本年度から国の青年就農給付金を活用し、新規就農者への支援に努めています。また、人・農地プランの作成や農地中間管理事業の活用により、中心となる経営体の確保を図っています。

Q 有害鳥獣対策について、木更津市や市原市で行っている、国の補助事業を受けられないか。国の補助事業を受けられないか。

A 駆除体制の強化を図っていますが、地域で有害鳥獣対策講習会などの実施を検討して

おり、これらの事業の効果を極めていきます。

Q 農畜産物直売所の改修について、現在休憩場所として利用されている場所を売り場に拡張する計画のようだが、新たに休憩所を設置する計画はないか。

A 市の産業振興の拠点の一つとしての役割を果たしていることは認識しており、現在協議をしています。

Q いちよう通りの騒音振動対策を

A 騒音振動対策として道路面の改修、大型車交通規制はできないか。

A 道路改修については、修繕計画に基づき、H29年度以降に実施予定です。交通規制については環境測定の結果など踏まえた上で、今後の方向性を考えていきます。

わたしたちが新しい議会広報特別委員会委員です



(前列) 【委員長】佐藤 麗子 【副委員長】山下 信司
(後列) 根本 駿輔 塚本 幸子 励波 久子 緒方 妙子 鈴木 憲雄

新しい委員となって初めての議会だよりの発行となります。
みなさまが読みやすいよう、余白やタイトルに気を付けて編集しましたが、少しでも読みやすく、わかりやすくなったでしょうか。
今後は、ホームページ等にも議会の情報を充実させるよう努力していきます。
皆様のご意見、ご感想をぜひお寄せください。

議会事務局メールアドレス：sode32@city.sodegaura.chiba.jp

市民会館女性セミナーで

一般質問 傍聴 12月7日(水)



議会を初めて傍聴するという方にもたくさん来ていただき、ありがとうございました。

当日のセミナーは現地集合だったため、議場の場所がわからなかったり、自由に傍聴できることを知らなかったりと、案内やPR不足を痛感しました。

傍聴の方から「初めて議会を見て勉強になった」「市が少しずつ住みやすくなるように感じた」「わからなかったことが傍聴してわかるようになったので、今回だけでなく聞かせていただきたいと思った」など、嬉しいお声をいただきました。

総務企画常任委員会

2020年(着工予定)の庁舎整備に向け浦安市を視察 1月11日(水)

市庁舎の耐震性能が現行の基準を満たしていないため、庁舎整備を計画しています。現在基本設計を行っています。市議会でも、より市民が使いやすい庁舎となるよう、総務企画常任委員会ですり管事務調査を開始しました。

今回視察した浦安市は、昨年新庁舎が完成したばかりで、免震構造や、防災拠点としての電源や水の確保、障がい者団体とのワークショップに基づいたユニバーサルデザインなど、大変参考になりました。市議会では今後も調査研究を進めていきます。



表紙の写真から

1月14日の深夜から15日にかけて行われる^{あきとみ}飽富神社の筒粥。^{つつかゆ}県の無形文化財に指定されています。

鍋を火にかけて粉にした米を入れ、かきまぜながら^{よじ}筒を入れます。固くなったところで火から下ろし、幣殿にて筒を割り、中の粥の量でその年の作物の豊凶を占う神事です。

写真は、粥を炊く火を^{きりび}鑽火でおこしているところです。役に選ばれた若い衆8人が、^{みずごり}水垢離で体を清めたあと、手を止めることなく交代しながら檜の棒を回し続けます。

地域で一体となって受け継がれる神事。ぜひ見てみてください。



3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/19	2/20	2/21	2/22 本会議 10:00~	2/23	2/24	2/25
2/26	2/27	2/28 本会議 10:00~ 一般質問受付	3/1	2	3	4
5	6 総務企画 常任委員会	7 文教福祉 常任委員会	8 建設経済 常任委員会	9	10	11
12	13 本会議 (一般質問) 9:30~	14 本会議 (一般質問) 9:30~	15 本会議 (一般質問) 9:30~	16 本会議 (一般質問 予備日)	17	18
19	20 春分の日	21 予算審査 特別委員会	22 予算審査 特別委員会	23 予算審査 特別委員会	24	25
26	27 本会議 10:00~	28	29	30	31	4/1

- *一般質問通告一覧表は3月2日頃、ホームページに掲載する予定です。
- *3月定例会の予定は、2月15日(水)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(62-3450)へお問い合わせください。
- *請願・陳情の受付は2月13日(月)までです。

発行/袖ヶ浦市議会 編集/議会広報特別委員会

〒299-0292 千葉県袖ヶ浦市坂戸市場1-1

TEL0438 (62) 3450 (直通)

袖ヶ浦市ホームページ <http://www.city.sodegaura.lg.jp>

袖ヶ浦市議会 検索

